

月刊

ボランティアと、  
地域活動の情報満載。

# ボラナビ

## 6月号

**無料**

5月25日発行(第34号)

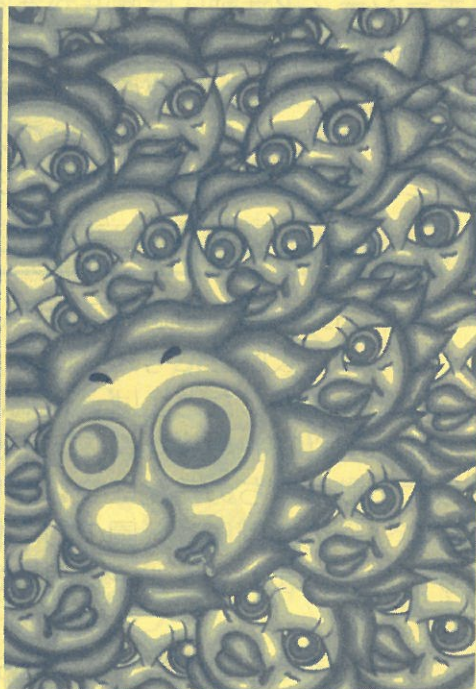
**ボラナビとは**

ボランティアナビゲーション(案内役)  
を略した造語です。

今月の表紙は、東区の小林雅史さん(21才)の作品です。道端で自分の描いた絵ハガキを売っていたところ、縁あって、東急ハンスに50種類を置いてもらえることになったそうです。すごい！イラストレーターの夢に向かって前進中。がんばってくださいね。



R. Nishishiki



R. Nishishiki

**特集**



# ボランティア

第1回 「まずはやってみよう」

**新聞 遅読み!**





# ボランティア



第1回 「まずはやってみよう」

ボランティアをしている人、していない人、ボランティアが好きな人、関心のない人…さまざまだと思います。でも、ボランティアってなんでしょう?? 札幌ボランティア活動研究会の伊藤規久子さんに、「ボランティア」についての考えをお聞きしました（3回の連載です）。

## 何かしたいのだけれど何をしたらよいかわからない…

私がボランティア活動（らしきもの?）を始めてから、かれこれ10年になります。10年前に比べるとボランティア活動をする人の数は確実に増えています。しかし、一方で、「ボランティア活動には興味がある。自分も何かしてみたい。でも、何をしたらよいかわからない。」そう思って踏みとどまっている方も大勢いらっしゃるようです。これって実にもったいない話だと思います。ボランティアを必要としている人や団体はいっぱいあるのです。それなのに…。私、原因のひとつは、ボランティア活動がちょっと誤解されているからではないかなーと思っています。

## 何だってボランティア活動になってしまう

ボランティア活動を何か特別なことのように考えている方も結構多いのではないのでしょうか。そんなに大げさに考えないで、身近なことで自分のできることから始めていけばよいと思います。たとえば、道端に落ちている空き缶やゴミを拾ってゴミ箱にすてたり、自分の家に持って帰ってゴミの日に出すことも立派なボランティア活動です。ちょっとした行動がまちの美化につながります。これは一人でもできることですが、仲間を集めて、例えば河原や公園のゴミ拾いをすれば、きれいになる場所はぐーんと広がります。自分のまわりをよーく見回して下さい、きっと何かできることがあるはずですよ。

また、たくさんある活動のなかで何を選ぶか、その目安になることは、やはり「好きなこと」「得意なこと」であると思います。「好きなこと」「得意なこと」は長続きするし、もっと磨きをかけたいと思うものです。「あまり好きではないこと」「苦手なこと」は長続きしませんよね。歌うこと、朗読、絵やイラストを描くこと、子どもと遊ぶこと、人と話しをすること、料理、掃除、パソコンの操作、だれでも何か好きな事、得意なことがあるはずですよ。それを活かすような活動を見つければ良いと思います。

ちょっとおもしろい例をご紹介します。「いるだけボランティア」、短くして「いるボラ」。これ、何のことだと思いますか? 実は、その人がそこにいてくれるだけで“場



がなごむ” というもので、子どもやお年寄りが活躍できそうなボランティア活動です。

また、最近「遊びボランティア」というのがはやっているようです。何ということはない、ちょっと時間を割いて、子どもやお年寄りと遊ぶボランティアです。遊びは、昔遊びであったり、戸外でのゲームであったり、碁であったり、いろいろです。教育学部の学生さんを中心に「校庭ボランティア」などというのも登場してきました。今どきの子どもは校庭で遊ぶといってもどうやって遊んだら良いのかわからない。そこで子どもたちが下校する頃を見計らって、校庭で子どもたちを待ち受けて遊びをしかけるのだそうです。

また、日本ではまだ聞いたことがありませんが、オーストラリアには「赤ちゃん抱っこボランティア」というのがあるそうです。未熟児で生まれた赤ちゃんは保育器が必要なので長い間入院しなければなりません。他にも子どもがいて帰宅しなければならないお母さんに代わり、病院に出かけて行って、スキンシップ不足を補うために赤ちゃんを抱っこするのだそうです。このボランティア活動、イライラ解消に役立ちそうですね。 (笑)

## 気楽に行きましょう!

関西はボランティア活動などの市民活動がたいへん盛んな地域。ちょっと悔しいけれど、北海道の何年も先を走っていると感ずます。

さて、その関西で市民活動をなさっている方がこう言っていました。関西人というのは「おもしろそう」と思うとすぐ飛びつくのだそうです。ともかくフットワークがいい。どうしよう、どうしようと思ひ煩うことがあまりないようです。で、実際にやってみておもしろければそれでけっこう。ところが、いざ始めてみるとどうも「おもしろくない」と感じることもある。でも、それはそれでけっこう。相性が悪かった、選択が間違っていたということで、次の活動にトライすればいい。何かとても気楽な言葉ですよ。

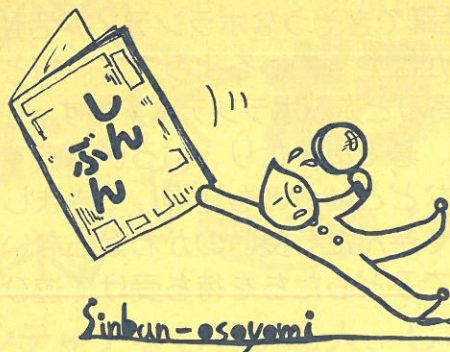
「ボランティア活動をしたいのだけれど何をしたらよいか分からない」という方、あまり思ひ煩わずに、ちょっと勇気を出してはじめての一步を踏み出してみましょう。まずはいろいろ試してみる。そうしているうちに「これこそ!」と自分にぴったりの活動が見つかったら、私は思っています。



### 伊藤規久子プロフィール

ホームステイやホームビジット、異文化理解に関する講演会の自主企画など国際交流の分野のボランティア活動からスタート。現在は、札幌ボランティア活動研究会所属。市民の立場からボランティア活動やグループ運営に関する調査・研究、講座の開催などを行っている。(趣味は山歩きと歌うこと。)





新聞

# 遅読み!

Sinbun-osayami

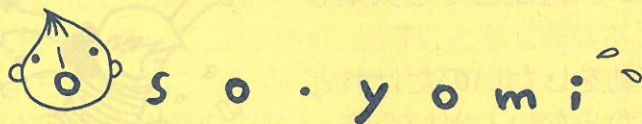
各社の新聞には、NPO、地域、福祉などなど興味深い情報がいっぱい。古くても「これは多くの人に知らせたいなあ」というような記事を集めています。このコーナーに掲載できるような記事がありましたら、新聞社名と掲載日が分かるようにしてボラナビ倶楽部にFAXしていただくと嬉しいです。

## 地域に雇用や交流の場を生むレストラン

雇用や交流の場を地域に生み出すことを目的にしているコミュニティレストランづくりを「NPO研修・情報センター」（東京）が進めている。調理、配膳、客へのサービス、会計、食材の調達など多様な仕事で構成されるレストラン。NPOが運営すれば、高齢者、障害者、主婦など、職を見つけにくい人たちの仕事場を作ることができる。代表の世古一穂さんがニューヨークに行った際、たまたま入ったレストランがホームレスの自立支援の場だったことからアイデアを得た。

空き店舗やレストランの休業日などを借りて、これまで十数回開店。今後は常設のコミレスが開けるよう準備している。また、不登校児の体験学習の場にもしていく予定。

(01/04/21他 毎日新聞)



## 保健所に赤ちゃん用文庫、本のプレゼント

保健所が、育児相談に来た母子が気軽に立ち寄れる文庫を設けたり、検診時に絵本を贈ったりする運動が全国で広まっている。赤ん坊を連れて図書館や本屋に行きにくいという若い母親に人気。東京練馬区のある保健所では毎月2回の育児相談日にあわせ、所内の会議室で開催。毎回約50人が借りていく。本は地域の図書館で不要になったものなど。近所の母親ら10人が、ボランティアで貸し出し作業や絵本の修理を引き受けている。

東京杉並区の保健所では、4ヶ月検診に訪れた230人に絵本2冊を贈った。イギリスで定着しているブックスタートという取り組みで、絵本を介して母子のきずなを深めてもらうのが狙い。来年度にはブックスタートを実施させる自治体が増えそうだという。

(01/02/08 読売新聞)



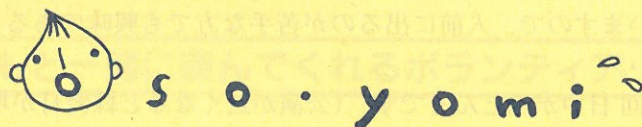
## アメリカの経済的にゆとりのある高齢者のための施設や団地

経済的にゆとりのある高齢者のための施設がアメリカニューヨーク郊外にある。病院を退院したものの家族から離れて暮らさなければならないお年寄りが住む。定員300人で常に満杯。個室か二人部屋が中心で、24時間の医療サービスが受けられる。内装や庭は高級ホテルのように立派。費用は部屋の広さなどによって違うが、最低でも日に3万円弱。入居者は平均2年半で亡くなるので、支払う額は3000万円前後とか。

こうした高級施設にも地元の人がボランティアとしてくる。約300人が、赤いエプロンをつけ、歌やダンス、チェスの相手などのお年寄りの楽しさを支えている。施設職員「世話をする側の人員に余裕を持たせ、家族的なサービスを心がけている」。

また、アメリカアリゾナ州には、平均67歳の高齢者だけが暮らす住宅団地がある。約9万人が住む。ここに家を購入するには、夫婦の一方が55歳以上であることが必要。18歳以下の子どもは3ヶ月以上同居できない。若者がいないので犯罪が少なく、学校建設などの設備投資が不要だそう。その結果税金が安くなる。一部の警察業務や清掃、病院の受付などは一部の住人がボランティアで担当し、生活費を圧縮させている。

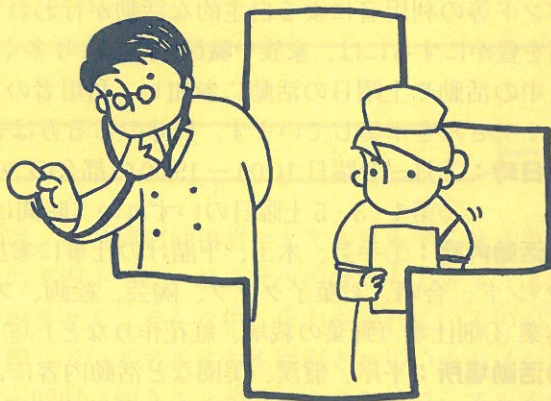
(00/12/22 北海道新聞)



## ネット医療相談 メール殺到

医師のボランティアによるインターネット医療相談に、悩みを訴える電子メールが殺到している。

東京のある診療所のHPには、連日全国からメールが届く。「腰痛がひどい。親を骨転移のガンで無くしているので心配です」。医師は「椎間板ヘルニアの可能性も考えられ、整形の先生の診察をお勧めします」といった回答メールを返信する。風邪、ガン、不妊症、アトピー性皮膚炎、脱毛など内容は千差万別。検診など対面診療無しにメールのやり取りだけで診療することは医師法上できないので、回答は「参考意見」に過ぎない。始めた5年前当初は週2、3件だったが、今は増え、相談数は述べ7000件を超えた。応じきれなくなったため、昨年未からは、この診療所に通ったことのある人の相談を優先する形に変えざるを得なかったという。こうした相談サイトは全国に多いが、メールが殺到する悩みはどれも同じで、一日の相談受付数を3件に絞ったり閉鎖するところもある。人気の秘密は、多くが無料の上、患者が気になる症状について気軽に聞けること、一般の診療時間が短いこと、インフォームドコンセント（十分な説明と同意）の不足などで患者が医療現場に不信感をもっていること、などと思われる。



(01/02/20 北海道新聞)





ボラナビでは、今、8月号に掲載する情報を集めています。6月25日までに、最終ページにあるボラナビの宛先までお寄せください。

イラスト：タケダミヲ

常時

## 人形劇団「天通虫（てんとうむし）」団員ボ集

●**内容**：人形劇団「天通虫」は、ボランティアで人形劇公演を行っているサークルです。これまでに、市内保育園や老人施設などで公演を行ってきましたが、まだ出来ばかりで人が足りません。現在いる団員は、みんな20歳前後で未経験者がほとんどです。人形を操る人だけでなく、裏方の方もボ集していますので、人前に出るのが苦手な方でも興味のある方は年齢・性別問わずぜひご連絡ください。

●**練習日**：月に1・2回 日中がほとんどです。（公演が近くなると練習日が増えます）

●**場所**：団長自宅（手稲区前田）（変更することもあります）

●**会費**：1500円（約半年ごと）+各集まりのときの交通費

●**連絡先**：TEL 090-9432-6863（斉藤）※非通知はかかりませんのでご注意ください。

●**その他**：高齢者施設や病院など、公演先も探しています。

常時

## 施設でのボランティア ボ集

●**内容**：「社会福祉法人 草の実会」では、知的ハンディを持つ方々が、平日の日中に施設や作業所に通い、手芸や木工、力仕事などの活動を行っています。その他、土曜日には陶芸や絵画、バンド等の利用者による自主的な活動が行われています。利用者の方々の活動の輪を広げ、生活を豊かにするには、家族や職員以外のより多くの方々とのかかわりがとても大切です。そこで、日中の活動や土曜日の活動に参加し、利用者の方々と楽しい時間を過ごしていただけるボランティアさんをボ集しています。興味のある方はぜひご連絡ください。

●**日時**：①月～金曜日 10:00～15:00の都合のつく曜日、時間

②第1・3・5土曜日のいずれか（時間は活動内容によって異なります）

●**活動内容**：①手芸、木工、下請けの仕事に参加、散歩の付き添い ②土曜日の余暇活動に参加（バンド、合唱、お菓子クラブ、陶芸、絵画、スポーツ等） ③あじろ織り等、手芸品の仕上げ作業 ④畑仕事（野菜の栽培、紅花作りなど） ⑤その他、特技や趣味をいかした活動など

●**活動場所**：平岸、盤溪、美園など活動内容によって異なります。

●**連絡先**：社会福祉法人草の実会 知的障害者通所授産施設「草の実平岸の里」

（豊平区平岸4条17丁目6-6） TEL 011-817-9080 FAX 011-817-9899

（ボランティア係 佐藤、橋本、山本）



**常時****介護のお手伝い有償ボラ ボ集**

●**内容**：在宅介護のお手伝いをして下さる方をボ集しています。ほぼ寝たきりの男性で娘さんが介護していますが、娘さんの都合が悪いときや体調の悪いとき、代って介護して下さる方を探しています。口から食事が摂れないので鼻に管を入れており、流動食を注入しています。ボランティアさんの資格は問いませんが、なるべく管を入れている方にたずさわった経験のある方を希望します。仕事内容は、身体介護（流動食注入を含む）、簡単な家事、ストレッチ体操などです。

●**日時**：6:30～9:30、11:00～13:00、16:00～18:30（どれかでも構いません）。娘さんの都合が悪いときをお願いするため、曜日などは不定期です。慣れるまで数回来ていただくことになります。

●**場所**：中央区宮の森3条3丁目（地下鉄28丁目駅から徒歩7～8分）

●**連絡先**：TEL 011-231-8555 内線 175（8:30～17:30）FAX 011-231-8611

E-Mail：ayumik@nmh.or.jp（戸澤）

●**その他**：1時間1000円前後の謝礼と交通費を考えています。

**常時****子どもと一緒に遊んでくれるボランティア ボ集**

●**内容**：小学生のためのフリースクールと学童保育どろんこクラブでは、子ども達と一緒に遊んでくれる大学生以上のボランティアさんをボ集しています。どろんこクラブは、ハンディのある子もない子と一緒に安心して思いっきり楽しく遊べる場所として開設された民間施設です。現在、特殊学級に在籍する子を中心に1日10人程度の子供達が来ています。屋内のプレイルームや公園で遊んだり、スポーツ施設に出かける事もあります。子どもが好きな方、遊ぶ事が好きな方をお待ちしています。

●**日時**：月～金曜日 10:00～17:00 可能な曜日と時間帯で結構ですが、できれば1日通して居られる方を望みます。

●**場所**：札幌自由が丘教育センター内「どろんこクラブ」

（北区北16条西4丁目21北18条駅より南向き徒歩3分 三橋内科となり）

●**連絡先**：TEL 011-736-5345 FAX 011-736-5755（担当 金城）

**常時****アルミ缶を集めています**

●**内容**：私たち「ひまわり共同作業所」の仲間は、精神障害回復者として1日も早く社会復帰しようと日々努力をしています。しかし、現在の不況下では一般会社への就職もできず、下請け作業も少なく、社会復帰は思うように進んでいません。そんな中、今力を入れているのがアルミ缶回収です。みなさんが資源ゴミとして処理しているアルミ缶を回収させていただけないでしょうか。よろしく願いいたします。なお、回収に伺うことができませんので、アルミ缶がたまりましたら、お手数ですが「ひまわり共同作業所」（住所下記）までお持ち頂けると助かります。

●**連絡先**：ひまわり共同作業所（豊平区美園6条8丁目1-4-101）TEL/FAX 011-813-5999



## 常時

### 日常生活のお手伝いをしてくれる方 募集

●**内容**：こんにちは！坂内洋士（ばんないひろし）です。私は、脳性まひのため、両手両足が不自由で一人では出来ない事がたくさんあります。特に食事やトイレ、屋外での移動などに手助けが必要です。そんな私の一人暮らし、地域での自立生活を支えてくださるボランティアさんを急募しています。新年度になってから、今までのボランティアさんが就職などで来られなくなり、現在は以前の半分の人数でお手伝いをしてくださっています。ボランティア経験がない方でも大丈夫です。よろしく願いいたします。

●**日時**：火・金・土曜日 17:00～21:00

●**場所**：東区北19条東4丁目 365-706

●**連絡先**：坂内洋士 TEL/FAX 011-753-6662 E-Mail：h\_bannai@nci.gr.jp

ホームページも開いています <http://www.nci.gr.jp/bannai/index.htm>

## 常時

### 通所者と一緒にカラオケ、マージャンなどをしてくださる方 募集

●**内容**：「ゆかい」は、昨年開設したばかりのサービスセンターです。現在、月・水・木曜日に通所者がおります。また、今後は週末の開所も検討中です。通所者の要望により、カラオケやマージャン、トランプなどのレクリエーションをしたいと思っておりますが、人数が少なく思うように活動ができません。そこで、通所者と一緒にカラオケやマージャンなどのレクリエーションをしてくださる方を募集しています。空いている時間で構いませんのでご協力お願いいたします。

●**日時**：月・水・木曜日、あるいは土・日曜日の空いている時間

●**場所**：厚別区厚別南2丁目 17-14 サービスセンターゆかい

●**連絡先**：TEL/FAX 011-891-4966

## 常時

### グランドソフトボールの練習を手伝ってください

●**内容**：グランドソフトボールという視覚障害者のスポーツをご存知ですか？ルールはソフトボールとほぼ同じですが、1チーム10人で行われ、ハンドボールを使用し、転がしたボールをバットで打ちます。グローブは使いません。その他、ハンディを補うための特別なルールがあります。私たち盲社会人グランドソフトボールチーム「札幌マックス」では、練習をサポートしてくださる方を探しています。経験のない方でも大丈夫です。興味のある方は電話連絡の上、練習場所にぜひ一度足を運んでみてください。なお、日程など詳しくは下記までお問い合わせください。

●**練習日**：月2、3回 日曜日

●**練習場所**：円山総合グランド補助グランド（中央区宮の森2条14丁目 地下鉄円山公園駅からバス（4番のりば）西14荒井山線 or 西15動物園線で「総合グランド前」下車 徒歩1分）

●**連絡先**：札幌マックス 田代 PHS 070-6314-8214（平日は20:30以降にお願いします）



**常時****子供のリハビリのお手伝いをお願いします**

●**内容**：先天性心疾患を持ち、途中で脳障害を抱えた2才の男の子のリハビリをお手伝いして下さる方を募集しています。ドーマン法をベースにしたキャッチ療法で2～3人が必要です。ビデオに撮ったものを見ていただいてから始めますので、初めての方でも大丈夫ですが、健康で体力のある方を希望します。できるだけ早いご連絡をお待ちしています。なお、万が一の事故のためにボランティア保険にご加入をお願いします。

●**日時**：毎日 9:15～10:30、13:30～15:15

●**場所**：北区太平3条3丁目

●**連絡先**：TEL/FAX 011-773-4458（佐々木）

●**備考**：交通費1回250円までお支払いします。

**6/16****YWCA主催チャリティーバザー**

●**内容**：恒例のYWCA主催「春のチャリティーバザー」を開催いたします。つきましては、衣料や日用品などの寄付を受け付けていますので、ご協力くださる方は以下までご連絡ください。バザーの収益は、YWCAの青年活動、高齢者福祉活動に役立っています。また、バザー当日のお手伝いをして下さるボランティアさんも募集していますので、よろしく願いいたします。

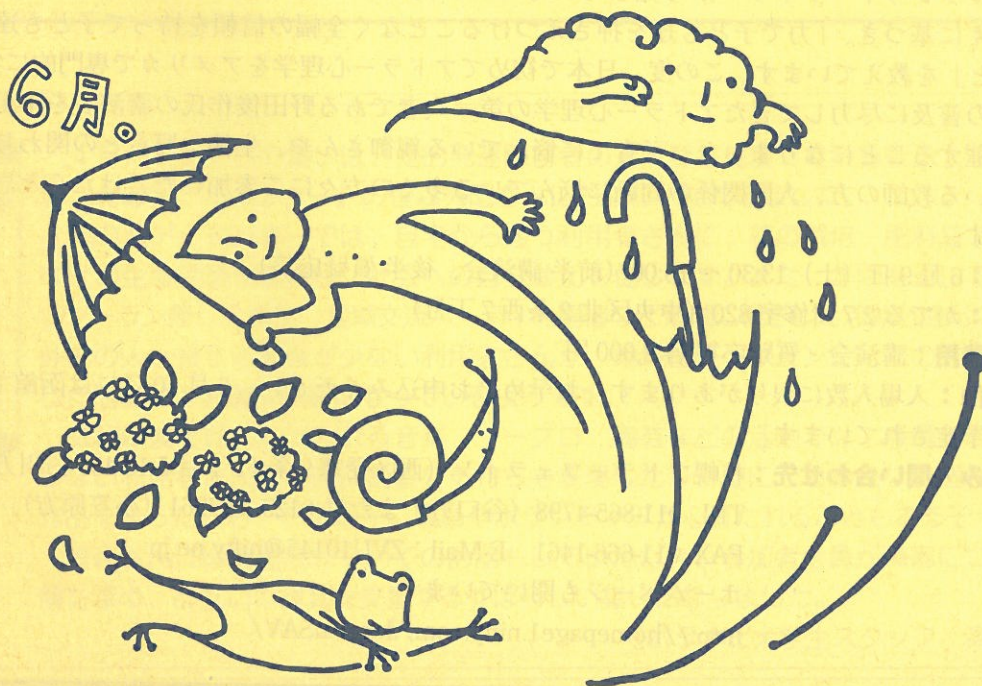
●**日時**：6月16日（土）11:00～14:00

●**場所**：北海道クリスチャンセンター2階大ホール（北区北7条西6丁目）

●**問い合わせ先**：札幌YWCA TEL/FAX 011-728-8090

バザー委員長（川端） TEL/FAX 011-583-3662

\*不在の場合は留守電にお入れください。





**7/15****豊平川イカダ下り運営スタッフ 募集**

●**内容**：「豊平川イカダ下り大会」は今年で27回目を迎えました。多くの人達の夢とパワーに支えられ、今では夏の風物詩として市民から愛されています。この大会の開催までをお手伝いいただく運営スタッフを募集しています。参加者募集活動や大会説明会、実際にスタッフでイカダを作成し、川の状態を見るために大会前に川を下ってみるなど、大会が終了するまで一緒に活動して下さるやる気のある方、ぜひご連絡ください。18歳以上の健康な方であれば、性別は問いません。大会の迫力、終了後の満足感は素晴らしいものです。川岸から豊平川を眺めるばかりでなく、実際に川に触れて自然の中で遊ぶ面白さを一緒に体験しましょう。

●**日時**：大会当日7月15日（日）まで毎週木曜日 19:00～21:00にスタッフ会議を行っています。

●**場所**：中央区民センター会議室（中央区南2条西10丁目）

●**連絡先**：豊平川イカダ下りを愛する会

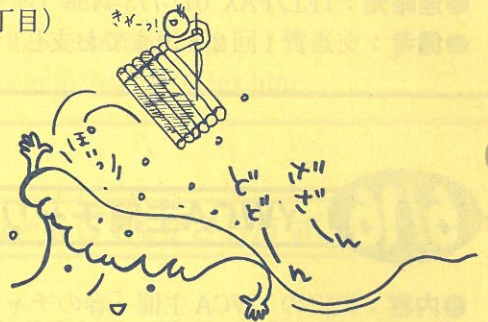
会長 上嶋 PHS 070-5606-1687

E-Mail：ikada@bug.co.jp

ホームページも開いています

<http://www.bug.co.jp/ikada/>

●**申込み締め切り**：7月12日（木）まで

**6/9****アドラー心理学者 野田氏講演会**

～「21世紀のこどもたちへ(これからの親子のコミュニケーション、学校でのコミュニケーション)」

●**内容**：皆さんアドラー心理学をご存知ですか？アドラー心理学は、フロイトの共同研究者だったアルフレッド・アドラーから始まったもので、「教育と育児を通してのみ社会は変わる」との考えに基づき、「力で子ども達を押さえつけることなく全幅の信頼を持って子ども達に接すること」を教えています。この度、日本で初めてアドラー心理学をアメリカで専門的に学び、日本での普及に尽力してきたアドラー心理学の第一人者である野田俊作氏の講演会を下記のとおり開催することになりました。子育てに悩んでいる親御さんや、生徒や児童との関わり方に迷っている教師の方、人間関係の問題に悩んでいる多くの方々にご参加いただけたらと思っています。

●**日時**：6月9日（土）13:30～18:00（前半 講演会、後半 質疑応答）

●**場所**：かでの2.7研修室820（中央区北2条西7丁目）

●**参加費用**：講演会・質疑応答 各2,000円

●**その他**：入場人数に限りがあります。お早めにお申込みください。6月10日には函館でも講演会が予定されています。

●**申込み・問い合わせ先**：札幌アドラーフェライン（西区発寒9条11丁目5-15-407 白川方）

TEL 011-865-4798（谷口方）または 0123-32-7261（小笠原方）

FAX 011-666-1461 E-Mail：ZVU10145@nifty.ne.jp

ホームページも開いています

<http://homepage1.nifty.com/dendenSAV/>



常時

## ふれあい体験講座ボランティア ボ集

●**内容**：ボランティア団体「福祉講座」は、知的障がい児者が地域において自立した生活や社会参加が出来る体制作りのため、ふれあい体験・行事・講座を組みながら活動をしています。今年度、6回のふれあい体験講座を予定しています。知的に障がいをもつお子さんと共に行事に参加して下さるボランティアをボ集しております。年齢・性別は問いません。多くの方のご参加をお待ちしています。講座内容についての詳細は下記までお問い合わせください。

●**日程**：①6月9日（土）10:00～14:00

青少年科学館において障がい児と共に館内を楽しみ、遊びます。

②8月8日（水）・9日（木）青少年山の家に宿泊をして、親睦をより深めます。

（7月下旬に宿泊のための事前研修会を行います）

①②の他、10月・12月・1月・3月にも予定しています。

●**問い合わせ先**：ボランティア団体「福祉講座」

TEL/FAX 011-853-8733 携帯 090-6260-9326（代表 和田）

常時

## 子どもたちのお兄さん お姉さんになりませんか？

●**内容**：私たちのサークル「四つの輪」では、子どもと遊んでくれる元気なお兄さん、お姉さんをボ集しています。岩見沢の養護施設で、明るく元気な子ども達とドッチボールやバスケットボールをしたり、楽しくお話したり、また、キックベース大会や雪中運動会などのイベントも企画します。18歳以上で子どもの笑顔にふれあいたい方なら、どなたでも大歓迎です。

●**日時**：毎月第1・3日曜日 10:30～18:00

●**場所**：「光が丘学園」（岩見沢市春日町3丁目）

●**問い合わせ先**：携帯 090-9521-8083（濱林隆宣）

★  
4  
月  
の  
集  
い

4月のボラナビの集いは、知的発達障害者の通所更正施設『社会福祉法人札幌この実会 北の沢デイセンター』の笹森秀昭さんにお越しいただきました。

北の沢デイセンターでは、自宅から通う利用者さんに、花の栽培、肥料袋づめ、染色などの生産活動を提供し、社会への自立参加を促します。また、年間を通して、よさこいソーラン祭りの参加、地域交流パーティの開催など地域に根ざした活動も盛んに行われ、外部の人と接する機会が少ない利用者さんが、地域住民やボランティアの方々と共に楽しく活動する貴重な体験になっているようです。

気分転換を目的に行われる音楽、ワープロ、陶芸などの活動では、感情表現を得意としない利用者さんが、詩に素直な気持ちを表現したり、型にとらわれない個性ある陶芸作品を作ったりと、その様子に職員やボランティアが心打たれることもあるそうです。

笹森さんには自閉症についてのお話もしていただき、参加者全員が障害についての理解を深め、お互いの意見を交換するすばらしい集いになりました。

（ボラナビ大学生スタッフ 高木大作）



**6・7月****「小島屋万助劇場with本多愛也」パントマイム公演とワークショップ**

●**内容**：「小島屋万助劇場」は、東京を発信拠点としてワールドワイドに活躍するパフォーマンスグループです。北海道では、1997年以来全道各地を笑いの渦に巻き込んでいます。また、昨年7月にはタイで「パントマイム・イン・バンコク」と銘打った3回目の公演を行い、タイの子ども達の目を輝かせました。そんな「小島屋万助劇場」が北海道上陸5周年記念 Best 盤公演を行います。劇団メンバーとの楽しく創造性豊かなパントマイムレッスン（ワークショップ）もあります。是非いらしてみてください。公演・ワークショップともに一般向けと親子向けがあります。詳細はお問い合わせください。

**<一般公演・ワークショップ>****(公演)**

●**日程**：①6月4日（月）②6月5日（火）③6月28日（木）④6月29日（金）  
⑤6月30日（土）すべて19:00開演

●**料金**：前売2500円 当日3000円

**(ワークショップ)**

●**日程**：6月3日（日）13:00～15:00「基礎編」16:00～19:00「創造編①」  
6月27日（水）19:00～22:00「創造編②」  
7月1日（日）17:30～「創造編③・公開ワークショップ」

●**料金**：基礎編2000円（予約のみ）、創造編①②③通し4000円（予約のみ）

●**会場**：公演・ワークショップともに「コンカリーニョ」（西区八軒1条西1丁目2-1）  
TEL 011-615-4859

**<親子公演・親子ワークショップ>****(親子公演)**

●**日程**：7月1日（日）13:00開演

●**料金**：前売1000円 当日1500円 未就学児無料

**(親子ワークショップ)**

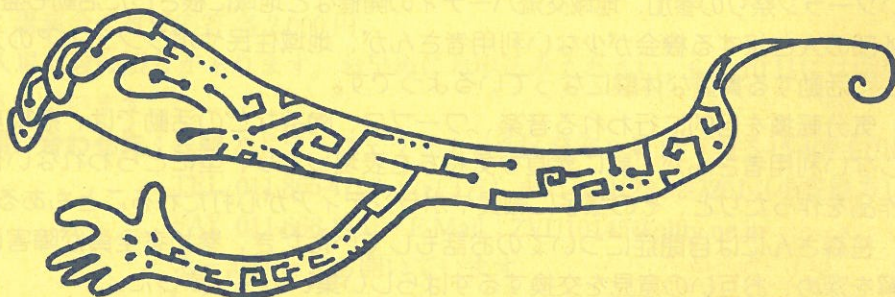
●**日程**：7月1日（日）14:30～16:00

●**料金**：親子2人で1000円（予約のみ）1人増えるごとにプラス500円

●**会場**：公演・ワークショップともに「やまびこ座」（東区北27条東15丁目）  
TEL 011-723-5911

●**チケット取扱**：4プラPG、大丸PG、ローソンチケット、コンカリーニョ、やまびこ座

●**問い合わせ先**：コンカリーニョ TEL 011-615-4859





**常時****お弁当の宅配ボランティア 募集**

●**内容**：ボランティアグループ「ニュートリケア」では、毎週土曜日と日曜日にお年よりや障害を持っている方に、お弁当を作って宅配をしています。そこで自家用車を使ってお弁当を宅配してくれるボランティアさんを募集しています。以前もボラナビで募集をし、数名の方が参加してくださったのですが、まだ人数が足りません。ご家族での参加、また、土日の活動なので、平日仕事をもっている方でも大丈夫。月1回程度でもよいのでよろしく願いいたします。

●**日時**：土曜日または日曜日（月1回程度でも結構です）昼食 11:00～12:00、夕食 15:30～16:30

●**宅配先**：東区内。1人5～8軒くらい宅配します。

●**宅配ボランティア集合場所**：東区伏古8条2丁目（片桐宅）

●**連絡先**：TEL 011-782-7756 FAX 011-782-2578（片桐）

**常時****外国人のための日本語サークルを開催しています**

●**内容**：にほんごサークルSTEP-J!では、「日本語を話す機会がない」「日本語を気軽に勉強したい」という外国人の方のために、日本語サークルを開いています。みなさんの周りに日本語をもっと勉強したい、覚えたいと思っていらっしゃる外国人はいませんか？英語圏の方でなくても結構です。ぜひ私たちのサークルを紹介してあげてください。

●**開催日時**：毎週月曜日 18:00～20:00

●**場所**：札幌市市民会館 会議室（中央区北1条西1丁目）

●**費用**：1回100円

●**連絡先**：STEP-J! 加藤 TEL/FAX 011-890-6390（日本語のみ）

山口 携帯 090-2875-9003（英語で応対可 18:00～）

E-mail：sapporostepj@hotmail.com

**常時****江別あそびの広場ボランティア 募集**

●**内容**：ハンディのある子どもたちに、外へ出てたくさん遊んでいろいろな経験をして欲しいという願いで行われている「あそびの広場」という余暇支援が江別でも始まります。その活動をお手伝いして下さるボランティアを募集しています。内容は、土曜日・祝日・長期休暇などに実施されるレクリエーションにおいて、ハンディのある子どもたちのサポートをしていただくことです。ボランティアさんと子ども1対1の個別サポートとなりますが、専門のスタッフが同行しますので初めてでよく分からないという方も安心して参加してください。興味のある方、とりあえず話だけでも聞いてみたいという方も是非ご連絡ください。

●**連絡先**：江別あそびの広場 TEL 011-382-6704（代表 西邑） TEL 011-384-6942（佐藤）

●**備考**：6月23日（土）8:45からレクリエーションを予定しています。

集合場所は江別市社会福祉センター。詳細はお問い合わせください。



**7~9月****子ども達のための事業を一緒に創りあげてみませんか？**

●**内容**：「ネットワーク2001」は、道立青年の家の施設ボランティア「ふかネット」を中心に、子ども達に心から楽しめる場を提供したい！という熱い思いを持った学生・青年らが集まり、ともに自分たちの知識や経験を生かして、子ども達にとってステキな事業を創り上げていく場です。また、事業を創り上げていくプロセスの中で、自分の小さな芽を伸ばしていく場でもあります。そんな活動に参加してみませんか？ボランティアに興味、関心のある学生、青年の方はどなたでもOKです。お気軽にお問い合わせ下さい。なお、定員は30名です。

●**日程**：①7月6日～7月8日プロジェクト会議Ⅰ（交流会、ミーティング）

②8月17日～8月19日プロジェクト会議Ⅱ（細案報告、検討など）

③9月21日～9月23日子どもを対象とした事業

※全3シリーズで構成していますが、一部参加も可能です。

●**参加費**：各3000円程度（宿泊費、食事代、保険料など）、交通費一部補助

●**場所**：北海道立青年の家（深川市音江町2丁目7番1号）

●**連絡先**：北海道立青年の家（担当：平野）TEL 0164-25-2059 FAX 0164-26-3600

または 北海道立青年の家 施設ボランティアふかネット代表 丹野

TEL/FAX 011-772-6621 携帯 090-7050-2473

**7/8****2001ひまわり号 in旭川～フレンドシップ・トレイン『ひまわり号』今年も走ります～**

●**内容**：障害をお持ちの方々と列車の旅を楽しみながらチョッピリ充実した1日を過ごしてみませんか？たくさんのステキな笑顔に出会えます。階段が多い、車いす用のトイレがないなどで普段外出が困難な障害をお持ちの方々の「列車に乗って旅をしたい」「海や山や川をみたい」という切実な願いを実現させようと、彼らと家族・ボランティアの夢と希望を乗せて『ひまわり号』という列車を毎年走らせています。17年目の今年は遠くに大雪連峰を望む北彩都《旭川市》へ向けて走ります。

●**日程**：7月8日（日）

●**行先**：旭川市 三浦綾子記念文学館、優佳良織工芸館、男山酒造り資料館、サンタプレゼント・パークほか

●**定員**：280名（ボランティア150名、障害をお持ちの方とその家族130名）

●**参加費**：5000円の予定（JR運賃、バス代、昼食代、保険料など）

●**交通手段**：JR臨時列車6両を使用、現地ではバスで移動

●**締め切り**：6月16日（土）

●**問い合わせ・申し込み先**：ひまわり号を走らせる札幌実行委員会 TEL/FAX 011-562-2575  
（中央区南5条西11丁目1288番コーエイ荘16号）

●**備考**：私たちと一緒にこのすばらしい『ひまわり号』を支えてくださる会員を募集しています。会員の方にはひまわり号の行事案内やニュースが届きます。年会費1口500円。お申込みは上記実行委員会まで。また、事務局員も募集中です。旅が好きな方、汽車が好きな方、そして何よりも人間が大好きな方、大歓迎です。

**6月のボラナビの集いの  
ゲストスピーカーです。**



## ボラナビの主な配付先

ボラナビは毎月25日に発行し、各所で無料配布しています。  
(問い合わせの多い大通り、札幌駅近辺のいくつかには住所も書いています)

### ●札幌市内と近郊の大学・専門学校●

大谷短期大学、札幌医科大学(本屋)、北海道浅井学園大学、札幌学院大学(江別BBS)、札幌国際大学、天使女子短期大学、藤女子大学、北海道文教短期大学、北星学園大学、北海学園大学、北海道医療大学、札幌福祉専門学校、北海道芸術デザイン専門学校、北海道医薬専門学校、北海道大学、北海道教育大学、小樽商科大学、札幌大学、酪農学園大学、武蔵女子短大

### ●スーパー●

北雄ラッキー、スーパーJOY、札幌東急ストア、ホクレンショップ・ホクレンディスカウントショップ、コープさっぽろ、SEIYU、マイカルSATY、ラルズ系スーパー、マックスバリュ<以上のスーパーの市内全店>、札幌フードセンター(平岸、元町、登川、北、新道、篠路、豊平、琴似、菊水、森林公園、カストムー東苗穂、月寒中央)

### ●書店●

文教堂 本の店 岩本 市内全店、紀伊国屋書店 市内全店と小樽店、くすみ書房、ダイヤ書房(北25東8、発寒14条3丁目、川沿1条1丁目)、ピヴォブックセンター(南2西4ピヴォ6階)

### ●レンタルビデオ店●

TOWA・フォレストエージ 市内全店、TSUTAYA(北14東6、北3西28)

### ●CD店●

VIRGIN MEGA STORE(南1西3ラ・ガレリア地下1階)

### ●映画館●

松竹、SY遊楽、札幌劇場、シアターキノ、東宝公衆、東映劇場

### ●銀行●

札幌信用金庫 札幌市内と近郊全店、北海道銀行 札幌市内と近郊全店

### ●飲食店●

可否茶館 市内7店舗、サンローゼ、サッポロ珈琲館

### ●その他●

北海道環境サポートセンター(北7西5)、朝日カルチャーセンター(北2西1)、札幌国際プラザ(北1西3)、北海道電力(株) 市内全営業窓口、琴似日食コンカリーニョ、道新文化センター(大通り西3)、ライラックパセオ、J Tインフォプラザ(南2西3)、さっぽろ村コミュニティ工房、JR琴似駅、JR新札幌駅

### ●市内公的施設●

70カ所(区役所、図書館、地区センター、市民活動プラザなどに配布をお願いしています)

## 6月のボラナビの集い

**6/24** 13:30~15:30  
(日) 初心者歓迎!

6月の集いのゲストは、14ページの「ひまわり号を走らせる札幌実行委員会」さんです。

場所：環境サポートセンター

北区北7西5札幌千代田ビル1階

TEL011-707-9025

会費：300円。

予定 **7月は18日(水) 18:30~20:30**

場所：環境サポートセンター

北区北7西5札幌千代田ビル1階

TEL011-707-9025

ボラナビでは、表紙の絵を募集しています。

応ポの方は、ボラナビ倶楽部へB5以上の紙へ描いた絵を郵送してください。紙は折らないようにお願いします。採用の方には、こちらからご連絡いたします。

これで私も立派な?ボラナビの集いスタッフなのですね、と編集後記を書いていて思いました。私もボラナビの他にも色々ボランティアに参加していますが、ボランティアを受ける側の笑顔がとても忘れられず、仕事を二の次にしてまでハマっています。皆さんもいかがですか?私は集いを通じて、そんな方のお手伝いをしていきたいです。えっ!?私の仕事ですか?え〜っと私は・・・。



(赤川 直)

## 読者のみなさまへ

・「月刊ボラナビ」を定期的にほしい方、お申し込みください。

定期購読料は、半年1500円で、毎月1部ずつお送りします。2~30部ずつ(札幌市外は12部まで)ご希望の場合は、半年で3000円です。また、これまでの「月刊ボラナビ」をほしい方は、ご希望の号をお知らせの上、郵送料とカンパをお願いします。振込みの際には、お名前、住所、希望部数、FAX番号(もしくはTELかメールアドレス)をボラナビ倶楽部にお知らせください(口座番号は最終ページにあります)。

・「月刊ボラナビ」に広告を載せませんか?

広告掲載は、縦4センチ横13センチで6万円です(版下製作もできます)。ボラナビ倶楽部への協賛の意味が強く、金額は若干高めに設定させていただいています。企業の方には負担をおかけしますが、広告の数が限られるため目立ちます!掲載希望の際は、ご連絡ください。

※「月刊ボラナビ」は、毎月25日に、2万5千部発行しているボランティアと地域活動の情報誌です。札幌市内の大学、書店、スーパー、JR駅、区役所や社会福祉協議会を中心に350カ所で無料配布しています。



## 今月協賛して下さった方々 (ハヒフ順)

- ・ 幡本印刷株式会社 様
- ・ 株式会社珈房 サッポロ珈琲館 様
- ・ ほくでんぼるねっと 様
- ・ 有限会社こみゅねっとシナプス 様
- (北海道電力内ボランティアサークル)
- ・ 札幌信用金庫 様
- ・ 北雄ラッキー株式会社 様
- ・ 札幌通運労働組合 様
- ・ 株式会社ホクレン商事 様
- ・ 札幌ポブラライオンズクラブ 様
- ・ 株式会社北海道アルバイト情報社 様
- ・ 城宝 和茂 様
- ・ 北海道紙商事株式会社 様
- ・ 進藤 芳彦 様
- ・ 北海道技術士センターリージョナルステート研究会 様
- ・ 生活クラブ生活協同組合 様
- ・ 北海道振興株式会社 様
- ・ 高垣 正計 様
- ・ 北海道ビジネスオートメーション株式会社 様
- ・ 株式会社 TAQANO 様
- ・ マイクロソフト株式会社 様
- ・ 株式会社土屋ホーム 様
- ・ 真屋 幹雄 様
- ・ 時任 生子 様
- ・ YOSAKOIソーラン祭り学生実行委員会 様
- ・ 中道リース株式会社 様
- ・ 株式会社リクルート北海道じゃらん 様
- ・ 成沢 優美 様
- ・ 赤帽北海道事業本部 様
- (うたのボランティアの会すみれ)
- ・ 大友福祉振興財団 様

### 協賛協力をお願い

ボラナビの発刊は企業・グループや個人からの500円からの協賛金でまかっています。1万円協賛いただいた社(方)の名前は誌面で紹介させていただいています。継続的なご協賛をお願いします(番号分まとめたの振込みも可能です。政治や宗教団体などは、お断りさせていただく場合があります)。

■郵便局口座番号:02700-1-5671

■北洋銀行口座番号(普):札幌駅北口支店 0118625 (ご連絡先をボラナビにお伝え下さい。)

■北海道銀行口座番号(普):札幌駅北口支店 0816050 (ご連絡先をボラナビにお伝え下さい。)

■加入者名:ボラナビ倶楽部

### 情報提供をお願い

ボランティア募集やイベント情報をお待ちしています。主旨と内容、日時、場所と交通、連絡先、その他を明記し、郵送・FAXまたはEメールでお送りください(Eメールだと嬉しい!)。掲載料は無料です。8月号に掲載を希望される場合は6月25日までにお送り下さい。読者の声等への投稿もお待ちしています。

# ボラナビ

CLICK!

ホームページアドレス

<http://www.infosnow.ne.jp/volunavi/>

メールアドレス

[volunavi@mb.infosnow.ne.jp](mailto:volunavi@mb.infosnow.ne.jp)

月刊 ボラナビ

■発行:ボラナビ倶楽部

〒001-0011 札幌市北区北11条西4丁目1-29

北海道NPOサポートセンター内(南向き)

FAX専用:011-716-2899(電話はかかりません)

■発行日:2001年5月25日

■発行部数:25,000部

■代表:森田麻美子

■印刷所:幡本印刷株式会社